

議題（３） 箕面市総合都市交通戦略（案）について

１．検討経過

（１）パブリックコメントの実施

「箕面市総合都市交通戦略（素案）」を作成し、平成 24 年 2 月 1 日～ 3 月 1 日にかけて、パブリックコメントを実施した。（7 人 35 件）・・・参考資料

（２）箕面市都市計画審議会報告

平成 24 年 3 月 2 日に開催された平成 23 年度第 2 回箕面市都市計画審議会で、検討内容及び箕面市総合都市交通戦略（素案）の報告を行った。

意見

- ・特に新御堂筋から西の方向の南北の通りを検討いただきたい。
- ・将来的な話で良いので、歩いていけるまちにするなら、その整備を、公共交通が便利なまちであるなら公共交通が旧市街地にも入れるような整備を行うなど、広い視野にたって、戦略を検討いただきたい。

対応

- ・国道 423 号以西の地区については、都市計画道路芝如意谷線の整備で対応。
- ・公共交通（鉄道・バス）を軸とした交通体系を目指し、戦略を策定。

（３）箕面市総合都市交通戦略（案）の策定

パブリックコメントや箕面市都市計画審議会において得られた意見に基づき、「箕面市総合都市交通戦略（案）」を策定した。

2. 箕面市総合都市交通戦略（案）の主な検討内容

- 戦略の位置づけと構成について、箕面市交通体系マスタープランの次期計画であることを明確にした上で、「箕面市総合交通計画(長期計画)」と「箕面市戦略実施プログラム(短期計画)」の関係を整理した。
- 全国的な潮流と箕面市特有の課題を再整理し、目指すべき方向性との関係性を明確にした。
- 第五次箕面市総合計画で示されている「人と環境にやさしい」まちづくりを、本戦略でも促進することを明確にするため、基本理念を「**人と環境にやさしい**公共交通を軸として持続的にスパイラルアップする協働の交通まちづくり」と変更した。
- 都市交通で目指す将来都市像の方向性1について、人へのやさしさを意識できるように、“市民の”を追加し、「**市民**の多様で質の高い生活を支える公共交通を軸とした交通まちづくり」と変更した。
- 箕面市の活性化に向け、市民の利便性だけでなく、流入交通に関する考え方について、再検討のうえ、他市からの人の流れとして、観光・買い物・余暇などの視点も追記した。
- バリアフリー化の推進として、主要な病院、福祉施設、駅、小中学校などの生活関連施設までの移動経路の歩道等の段差改良の検討を明確にした。
- 「バスサービスの充実」や「大学と連携したMMの実施」を追記し、戦略実施プログラムに市民の意見を反映した。
- 字句等の文言修正を行った。

3. 箕面市総合都市交通戦略（案）について

- 箕面市総合都市交通戦略(案)本編……………別紙1
- 箕面市総合都市交通戦略(案)概要版……………別紙2

4. 市民意見の募集に対する対応方針

(1) 総合都市交通戦略について 16件

番号	意見	対応方針	変更箇所
1	「箕面市総合交通計画(長期計画)」と「箕面市戦略実施プログラム(短期計画)」の関係について、分かりやすく整理いただきたい。	第1章で示す「上位計画及び関連計画と箕面市総合都市交通戦略の関係」フロー図に「都市交通体系マスタープラン」し、箕面市交通体系マスタープランの次期計画であることを分かるよう修正します。	3
2	上位計画及び関連計画については、戦略との関係性を明らかにするため、第1章で整理することが望ましいのではないのでしょうか。	ご意見のとおり修正します。	3~6
3	交通施策の経緯を整理するためには、これまでに実施してきた計画を記載するほうが分かりやすいのではないのでしょうか。	交通施策に関係が深いと考えられる関連計画について、再整理の上、修正します。	3,4,6
4	交通の担う役割が大きいものについては、他部署の計画も含め、関連計画として列挙していただきたい。	交通施策に関係が深いと考えられる関連計画について、再整理の上、修正します。	3,4,6
5	上位計画のうち、国・大阪府が策定しているものについては、管轄機関を明記していただきたいと思います。また、将来都市像の実現を目指すための取組をまとめて整理し、国や大阪府の計画を関連計画と位置付けていただきたい。	列挙する関連計画については、管轄省庁も併せて再整理し、修正します。なお、国、大阪府の計画は、箕面市の計画を考える上での上位計画としての位置づけとなります。	4,5
6	「バリアフリーのまちづくり推進」と「移動支援サービスの整備」の記述が含まれている「第5期高齢者保健福祉計画・介護保険計画」とその説明を入れていただきたい。	「第4期高齢者保健福祉計画・介護保険計画」について、ご意見のとおり修正します。	3,6
7	戦略の構成については、「将来交通体系のあり方」と「交通施設計画」を区分して示したほうが分かりやすいのではないのでしょうか。	総合交通計画で将来交通体系のあり方を整理し、交通施設計画については、戦略実施プログラムで示します。また、全体の構成について、わかりやすく修正します。	20, 75, 目次
8	全国的な潮流と箕面市特有の課題を整理したほうが分かりやすいのではないのでしょうか。	ご意見のとおり全国的な課題と箕面市特有の課題に分けて修正します。	50~53
9	第3章の「時代の潮流」については、「現在の傾向 ~めざすべき方向~」として、統一性を図ったほうがよいのではないのでしょうか。	ご意見のとおり、修正します。	50,51

番号	意見	対応方針	変更箇所
10	都市交通の基本理念について、「どのような考え方」で「どんな交通体系」にするのかを明らかにしたほうがよいと思います。	都市交通の基本理念、方向性、将来交通体系がわかりやすいように、構成を変更し、修正します。	-
11	第五次箕面市総合計画にも示されている「人と環境にやさしい」を基本理念に盛り込んでいただきたい。	ご意見のとおり「人と環境にやさしい」を追記し、修正します。	55
12	箕面市第五次総合計画の都市イメージ像にあるように、市域外からの流入も意識した交通網や道路整備の計画を示すべきだと思います。	市内外を含めた将来交通量を推計して、都市計画道路整備の必要性を明らかにしています。	-
13	都市交通で目指す将来都市像の方向性1について、人へのやさしさを意識できるように、「市民の”多様で質の高い生活を支える…”としていただきたい。	ご意見のとおり「市民の」を追記し、修正します。	56
14	市民の交通利便性だけでなく、他市からの流入(観光・買物・余暇)を招き入れることを前提とした文言を方向性4に加えていただきたく思います。特に、市外からの人の流れとして、「瀧道・登山路への流れ」や、「新駅周辺の商店・飲食店・病院をたずねる流れ」を加えていただきたい。	流入に関する考え方について、追記し、修正します。 個別の流れについては、別途検討します。	56
15	「大阪都心をはじめとする近隣都市へのアクセス性確保」が、課題となっている理由について、詳細に記述していただきたい。	ご意見のとおり、詳細な記述に修正します。	54
16	第4章で示されている「都市交通計画」について、「総合都市交通戦略」と「総合交通計画」の使い方を統一していただきたい。	都市交通計画は、都市交通に修正します。	55

(2) 北大阪急行線延伸について 5件

番号	意見	対応方針	変更箇所
1	鉄道延伸の必要性については、課題と方針が対応するように整理いただきたい。	ご意見のとおり、修正します。	54

番号	意見	対応方針	変更箇所
2	北大阪急行線延伸は本当に必要なのでしょうか？	<p>北大阪急行線延伸は、箕面市の骨格を形成する都市基盤の中で、最後に残された課題といえます。北大阪急行線は、大阪都心部を縦断する大動脈「地下鉄御堂筋線」と直結し、新大阪、梅田、難波、天王寺にダイレクトにアクセスするもので、延伸により本市の住宅都市としての魅力はますます向上することになります。</p> <p>また、北大阪急行線が延伸されると、新駅を中心とした市内バス路線網が大幅に充実し、誰もが安心して移動できるようになるだけでなく、人口の増加や生活施設の充実、新たな雇用の創出、商業の活性化、市民活動の促進などまちが元気になります。50年後、100年後において、持続可能なまちを創っていくためにも、安心して快適な暮らしを支える都市基盤の根幹である北大阪急行線の延伸は必要不可欠です。</p>	-
3	北急延伸が実現しても、千里中央や北千里におけるターミナル機能、商業集積、業務集積の方がかやの中央よりも上位であることは変わらず、延伸効果が低いと思います。	<p>一部のバス停でバリアフリー化されていない状況や駅から離れた位置にバス停があるなど、千里中央駅前のバスターミナルは飽和状態となっているため、新駅と役割分担の必要があると考えています。</p> <p>また、千里中央、船場、かやの中央が一体となり、大阪北部の一大都市拠点の形成が図れるものと考えています。</p>	-
4	北急延伸が実現すると、運賃負担や乗換負担が増加し、従前の交通便益が損なわれるのではないのでしょうか。	<p>バス路線の再編については、既存のバスルートの一部残すことにより2ルートを確保することや、鉄道事業者との協議により、運賃低廉化を図ることなど、交通便益が損なわれないように検討を進めていきます。</p>	-
5	北大阪急行を延伸することで、阪急箕面線の利便性が低下することは考えられないのでしょうか。また、箕面駅前の活性化について対策は考えられているのでしょうか。	<p>新駅の利用者は、主に千里中央駅の利用者となっており、需要予測でも阪急箕面線の利用者減少は軽微なものとなっています。鉄道延伸によりバス路線網が再編され、公共交通の利便性が向上することで、市域外からの来訪者の増加や市域内の人の移動が活発となり、市全体としても活性化するものと考えています。</p> <p>なお、箕面駅前の活性化については、別途箕面駅前周辺活性化事業で取り組んでいます。</p>	-

(3) バス路線再編について 6件

番号	意見	対応方針	変更箇所
1	市内循環のバス整備を考えているのであれば、かやの中央付近でのバス拠点整備を検討されたほうがいいのではないのでしょうか。	かやの中央地区内の新箕面駅(仮称)において、ターミナル機能、交流機能、防災機能など多様な機能を導入した交通結節点整備を進めていきます。 バス路線の再編については、サービスの低下がないように、今後、市民意向を踏まえながら、関係者と検討を進め、維持発展できるバス路線網としていきます。	-
2	かやの中央を中心としたバス路線網に再編した場合、各路線で採算を維持できるのでしょうか。		
3	北急延伸に伴って、バス路線については、更なる拡充が求められることがあっても、便益が低下することがあってはならないと思います。全体としての交通便益を維持、充実させる観点から検討していただきたい。		
4	既存のバスサービスを拡充することで、充分機能するとは考えられないのでしょうか。	箕面市では、鉄道不便地域もあり自動車分担率が他都市と比較して高い状況です。 このことから、鉄道を軸とした公共交通の充実を図ることが必要なため、北大阪急行線の延伸整備による都心へのアクセス向上と新駅を拠点としたバス路線網再編による市内移動の利便性向上をあわせて図ります。	-
5	バス路線の再編の検討については、平成22年パーソナリティ調査を用いれば、市民ニーズを判断できるのではないのでしょうか。また、アンケート調査についても、標本数の拡充や、回答者が客観的に判断出来る設問の設定などを工夫して実施する必要があるのではないのでしょうか。	平成22年パーソナリティ調査の取りまとめ中であり、現時点では使用することはできない状況です。 また、バス路線再編については、今後もアンケート調査の実施やパーソナリティ調査の最新データなどをもとに市民意向を把握しながら、検討を進めます。	29
6	北大阪急行に投入する税金を、オレンジゆずるバスに振り向けることが現実的な交通政策ではないのでしょうか。	路線バスでは採算性から開設が難しい市内移動をオレンジゆずるバスで補完していますが、将来的には、市内公共交通体系の抜本的な改善を行い、軸となる北大阪急行線の延伸を実現することで、市内の新駅を中心とした路線バスの再編による市内移動も充実することになります。そのうえで、地域に密着した交通をオレンジゆずるバスの運行で補完していくことが望ましいと考えます。	-

(4) バス利用環境について 1件

番号	意見	対応方針	変更箇所
1	ゆずるバスの利便性や利用促進から考えると、パターンダイヤの構築やルートの変更が必要だと思えます。	ご意見のとおり、バス利用環境の整備として、ルートの再編だけでなく、ダイヤも重要と考えますので、パターンダイヤと深夜ダイヤの充実の検討を追記し、修正します。	84

(5) バリアフリー化の推進について 1件

番号	意見	対応方針	変更箇所
1	バリアフリー事業について、車いす利用者からの視点で、再点検いただきたい。	バリアフリー化の推進のひとつとして、「歩道の改良」と、関係者に道路管理者を追記し、修正します。	105

(6) 公共交通の利用促進について 1件

番号	意見	対応方針	変更箇所
1	「バスの利用促進会議」などの存在と日程を市民や学校に周知いただきたい。	戦略実施プログラム・基本戦略4 - に「大学と連携したMMを推進する。」を追記し、修正します。	108

(7) その他について 5件

番号	意見	対応方針	変更箇所
1	萱野東西線の西側及び芝如意谷線を先行して整備いただきたい。	都市計画道路萱野東西線及び芝如意谷線は、新駅へのアクセス道路となるため、鉄道延伸までに整備していきます。駅西側の道路の整備については、地元地権者による面整備の検討もなされており、検討結果を踏まえて整備していきます。	-
2	自転車道整備については、都市景観を損なわない標識や標示(舗装等の工夫)が望ましい。	安全対策等の視点も含めた道路整備等を追記し、修正します。 なお、個別の内容については、今後所管部署で検討を進めます。	66
3	交通結節点における駐輪場整備は、設備面だけでなく、費用面に関しても利用しやすい条件を整えなければ利用者の増加は見込めないのではないのでしょうか。 また、駐輪場周辺整備については、駅までの歩道や雨よけ整備を一体的に進めていただきたい。		
4	彩都の整備状況をふまえると、国文4号線が当初の予定通り、部分施工されているのは、不適當ではないでしょうか。		
5	北急延伸に伴う道路整備のうち、通学路にあたる部分については、歩道や信号施設、横断歩道を整備していただきたい。 また、船場東について、横断歩道の設置が必要であると思います。 交差点の渋滞対策をお願いしたい。 自転車利用者だけでなく広く歩行者についても、安全喚起啓発を行うべきであると考えています。		